

JX石油開発株式会社

CO₂-EORプロジェクト

化石燃料の燃焼に伴うCO₂排出量の削減は地球規模での重要な課題であり、その有力な回答の一つがCO₂を地下に圧入して貯留させる方法です。

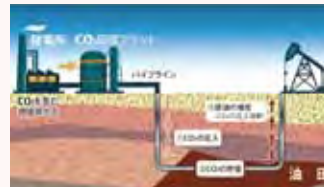
JX石油開発が2014年から参画している米国テキサス州におけるPetra Novaプロジェクトは、火力発電所で石炭の燃焼により発生するCO₂を回収し、それを近隣のWest Ranch油田(1938年発見)に圧入してCO₂-EOR(Enhanced Oil Recovery)を実施し、増産される原油の販売収入で、CO₂の回収・地中貯留費用を賄う、即ち、商業的に成り立つ形でCO₂排出量削減を図った先進的なプロジェクトです。

当社は、ヒューストン近郊でW.A. Parish発電所を保有／操業するNRG社と共同事業会社を組成し、West Ranch油田を操業するHilcorp社と共に、2016年末の商業運転開始を目指して、世界最大級のCO₂回収装置を含む施設の建設工事を進めています。CO₂-EORが開始されると、現在日量500バレル程度の同油田の生産量



W.A. Parish 発電所とCO₂回収装置
(完成イメージ図)

は15,000バレル程度まで増えると期待されると共に、年間約160万トンのCO₂排出量削減が見込まれています。



プロジェクト概念図

当社は、今後も、新しい発想のもとで、地球環境と調和した事業展開に積極的に取り組んでまいります。